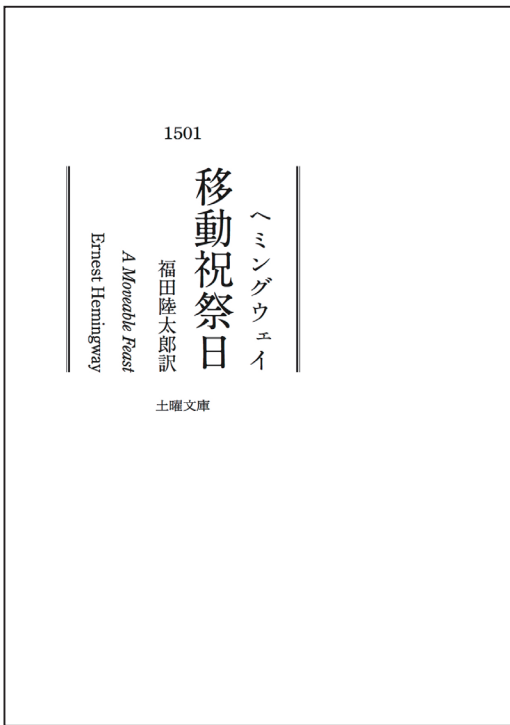


新刊切 9月30日 (金)

ヘミングウェイがパリの青春時代を描く

移動祝祭日

—もしきみが幸運にも青年時代にパリに住んだとすれば、きみが残りの人生をどこで過そうともパリはきみについてまわる。なぜならパリは移動祝祭日だからだ。1920年代パリの修業時代を描く、ヘミングウェイ61歳の絶筆を、詩人・福田陸太郎の定訳でおくる。



- ・ジョイス『ユリシーズ』1922年
- ・大杉栄『日本脱出記』1923年
- ・フィッツジェラルド『グレート・ギャツビー』1925年
- ・ヘミングウェイ『日はまた昇る』1926年
- ・セリーヌ『夜の果てへの旅』1932年
- ・ミラー『北回帰線』1934年
- ・キャパ『ちょっとピンぼけ』1947年
- ・小澤征爾『ボクの音楽武者修行』1962年
- ・ヘミングウェイ『移動祝祭日』1964年
- ・大江健三郎『日常生活の冒険』1964年
- ・伊丹十三『ヨーロッパ退屈日記』1965年

ほか

新刊指定はファクス **03-6369-3339** 出荷させていただきます!

貴店印	注文数	ヘミングウェイ=著 福田陸太郎=訳 移動祝祭日 いどう しゅくさいじつ 文庫判 248頁 初版3000部 ISBN978-4-907511-39-5 本体692円 2016年10月上旬搬入
		大杉栄、1923年のパリ冒険旅行記 日本脱出記 二刷5000部 ISBN978-4-9905587-0-3 本体952円 2011年好評既刊

土曜社

渋谷区猿楽町 11-20-301 | 担当: 豊田剛 | tsuyoshi.toyota@doyosha.com